

広報

# しよばら

# 10

2010/October  
No.67

Shobara  
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

## さとやまは実りの秋



2 特集1 庄原さとやま博

6 特集2 イクメン

10 綿陽市・庄原市友好協定締結20周年記念式典参加

12 三楽荘保存活用検討委員会報告

13 備北西部地区農道が全線開通

14 行政相談委員がお聞きします

15 災害義援金など受け入れ状況報告

16 みんなでまちづくりシリーズ

18 市政トピックス

20 カメラレポート

24 健康広場「特定健診を受けましょう」

25 お知らせ

収穫の秋、実りの秋。市内各地で農作物の収穫がピークを迎えています。写真は、西城小学校の児童が9月24日に稲刈り・ハテ干し体験をしている様子。稲刈りの風景は「さとやま」とそこに暮らす人びとの営みの象徴です。このようなさとやま体験をメニューにし、儲ける仕組みづくりを目指す「庄原さとやま博」がついに開幕しました。(関連記事2～5ページ)

Vol.17

## 「備北の朝」

# しよばら 百景



(平成22年7月19日撮影)

毎朝、太陽をいっぱい浴びて元気に語りかけてくれる紫陽花。今年初めて色を付けるこの大粒な紫陽花を、母は水を差しながら待ち遠しく眺めていました。というのも、この紫陽花は、備北に住む母の友人が大切に育てていた紫陽花だったからです。それだけに、母の想いも強く、友人を慕いながら、今か今かと待ち望んでいたのです。

ある日、その可憐に色を付けた鮮やかな紫陽花の上に、『2匹のかえる』が見入るほどかわいく寄り添っていました。その姿に感激し、母の目に涙。その友人は、昨年ご主人を亡くされ一人暮らし、とても仲が良かったお2人の姿としか見えませんでした。母も子どもも温かいぬくもりをいただきました。『大切な友へ』母はこの瞬間を届けることでした。

宮本 佳奈(是松町)

### 応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先  
〒727-8501  
庄原市中本町一丁目10番1号  
庄原市企画課広報統計係  
☎0824-73-1159  
メール Kikaku-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

「新築そっくりさん」を見てください。

地球にもやさしい、住まいの再生「新築そっくりさん」

拝啓  
皆様のおかげで、お過ごしでしょうか。この家を建てた時から、随分経ちました。今も、この家を大切に守り、住み続けたいです。おかげで、この家を大切に守り、住み続けたいです。おかげで、この家を大切に守り、住み続けたいです。

敬具

住友不動産 新築そっくりさん 広島東営業所  
0120-356-218  
http://www.sokkuri3.com/

「さとやま博」は3つのプログラムで構成

- その① 里山イベント**
  - 特別企画イベント
  - 里山を楽しむ体験メニュー
  - お通り、モーモー祭などの既存行事・地域イベント
- その② 里山ツアー**
  - 地域着地型のさとバスツアーの企画
  - 各旅行会社のバスツアー
- その③ 注目スポット**
  - 桜や紅葉などの観光地
  - 温泉などの観光施設
  - おいしい食べ物

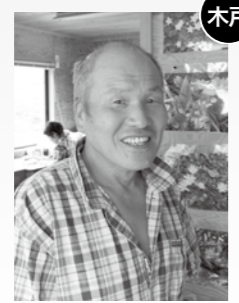
### ポイントは、都会では味わえない「さとやま体験」

現在、さとやま博で用意されているメニューは、約40種類。これから四季に応じて、さまざまな体験メニューが作られていきます。その主体となるのは、もちろん市民のみなさんです。

そこで、さとやま博体験メニューに参加される方たちに、今提供している、あるいは提供予定のメニュー紹介とさとやま博への思いを伺いました。

#### さとやまびと

私は山野草が好きで、エヒメアヤメやヤマシヤクヤクなど約150種類を約3畝の山に植えています。山野草だけではなく、敷地内にはサツマイモを5、6000株植えており、



木戸 内藤 寿彦さん

#### ② 山野草散策

山野草散策はもちろん、芋掘り体験もできます。山野草の見ごろは例年4月〜5月ごろ。今の時期はシラヒゲソウなどを見ることが出来ます。自給自足をすれば景気は関係ないと思いがち、山野草を植えるはじめて20年以上が経ちますが、毎年県内外から多くのお客さんに来ていただいています。中には、わざわざこの場所を探し出して来たというお客さんもいて、常に喜びを感じています。目標は、日本一の山野草地帯にすること。将来的には、障害者の方の雇用の場になるように施設や環境の整備を進めていきたいと考えています。

とにかく、お客さんに多く来ていただきたいと願っています。そのため、さとやま博には、情報発信と集客という部分にとっても期待しています。



植物や花に興味があった私は、10数年前からハーブを作るようになりました。ハーブは自宅の畑で約30種類を苗作りから行っています。石けん、リース、ポプリづくりなどご家庭で



山内 土井 福恵さん

#### ① 暮らしのハーブ体験

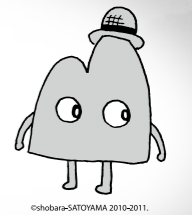
さとやま博によって、庄原に多くの方が訪れ、まちが元気になればうれしいです。そのためには、庄原に住んでいる人が、市外からのお客さんと同様に体験メニューに参加してもらうことも必要ではないでしょうか。

この機会が足がかりとなり、一緒に楽しむ人が市内に増えて輪が広がり、希望の持てる地域になることを期待しています。



## ついに開幕!! あなたの身近でみつけ体験!

# 2010 庄原さとやま博



庄原さとやま博が10月3日に開幕しました。これから1年、市内全域を舞台とする「さとやま博」。この催しは、庄原市の魅力を発信する大きなチャンスであり、各地域の良さを再発見し、それをビジネスに変えていくチャンスです。

庄原さとやま博が、市民の皆さんにとってどんなメリットがあるのか、チャンスをもものにするにはどうすればいいのかを一緒に考えながら、この催しを成功させるため一緒になって盛り上げていきましょう。



**主役は市民の皆さんです**

さとやま博は、従来のようにパビリオン（仮設の展示館）をつくり実施する博覧会ではなく、市全域が博覧会場となり、地域の観光資源がパビリオンになります。そこでイベントなどを行い、四季を通じて集客を図りながら、幅広く地域の魅力を連携させ、周遊型観光・通年型観光の仕組みをつくります。

**経済循環と儲ける仕組みづくりを目指して支援します**

「さとやま博」は、観光を庄原市の産業として位置づけるための仕組みづくりを行うプロジェクトです。

まず、市民の皆さん自らの発想で、里山の地域資源を活用した新たな庄原市の楽しみ方をつくります。そして、それを観光資源として商品化し売り出す。それが、体験メニュー、イベントやツアーとなって、地域経済が発展する仕組みづくりの第一歩となります。これを増やし、連携させることによって経済循環・儲ける仕組みの構築につながっていきます。

とは言っても、いきなりどうしたらいいかわからないという方のために、体験メニューの開発研修会・開発資金・開発に対するアドバイザーをご用意しています。これらの援助・派遣を受けたいと希望される方は、今すぐ庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室へご連絡ください。

## 体験メニューや特産品を開発するための資金援助が受けられます

対象になる経費や要件は、掲載内容以外でも庄原市観光協会連合会長が認める場合には活用が可能となりますので、ぜひご相談ください。

事業	補助要件	対象経費	要件
体験メニュー開発支援	新たに開発する体験プログラム事業	①体験に必要な備品 ②視察および研究に必要な経費 ③パンフレットなどの作成に必要な印刷費 ④体験に必要な使用料および借上料	①庄原の地域資源を活用すること ②継続的(季節などの期間限定でも可)に受け入れること
	既に実施している体験メニューのブラッシュアップ事業	①庄原の地域資源を活用すること ②市民が儲ける仕組みづくりの手段となる内容であること ③外部向けに内容を充実させる事業であること	
交流イベント支援	新たに開発する交流イベント事業	①開催に必要な備品 ②視察および研究に必要な経費 ③パンフレットなどの作成に必要な印刷費 ④イベントに必要な使用料および借上料	①庄原さとやま博のメニューとして実施できるもの ②さとやまバスツアーのメニューとして受け入れが可能なもの ③事業ごとに定めた要件をすべて満たしていること
	既存イベントのブラッシュアップを行う事業		
特産品づくり支援	調理、加工または製造された料理、加工食品、お土産の開発・販売事業	①試作研究などの開発経費 ②実験販売、市場調査などの経費 ③販売表示など宣伝PR経費	①地域資源や新たな素材などを活用し庄原の名物料理、名物食品の開発と販売に取り組む内容であること ②名物として親しまれ、集客および収益が見込まれる事業であること
ガイド育成支援	ガイド育成事業	①講師謝礼 ②研修会開催経費 ③ガイドに必要な物品購入	①バスツアーなどの観光地ガイドとして活動が見込まれる内容であること

●補助額は対象経費の実費です。(ただし限度額は10万円、交流イベント支援事業に限り20万円)

●体験メニューへの参加予約を受け付け中!

体験メニューへの参加は、事前の申し込みが必要で、電話またはホームページから申し込んでください。  
(体験メニューは、パンフレット、ニュースペーパー、ホームページに掲載しています)  
庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室 ☎0824-75-0173 受付時間9時~17時  
さとやま博ホームページ <http://shobara-satoyama.jp>  
※体験メニュー参加希望者から、メニュー先へ直接申し込みはできませんので、あらかじめご了承ください。

さとやま博に関するお問い合わせは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室  
☎0824-75-0173 または、商工観光課 ☎0824-73-1177(まで)。

## 市民の皆さんに期待



庄原市観光協会連合会 会長  
塩本 誠二さん

さとやま博というと、日本のどこにもある風景だと言われますが、春夏秋冬をばらばらと感ぜられるさとやまとしては、庄原は日本一だと思っています。だからこそ1年2カ月の間、いつでも四季を楽しめて何度も足を運んでいただける博覧会にしていきたくと思っています。

庄原には、そのときどきの旬を味わえる食文化や地域の宝になる資源があります。そして、四季を通じて生活を送り、暮らしの技や知恵を持っている情豊かな「人」がいます。これが都会の人たちにとっては大きな魅力に映っています。庄原ならではの特技を

持った方もたくさんいらっしゃるので、その方の得意なことを体験メニューとして提供し、お客さんとふれあいながら、交流を深めることができる体験型観光を進めていきたい。そこから小さな成功体験が生まれ、それを積み重ねてもらおうことで、自信や誇りが生まれると期待しています。得意なものがないという方も、どんな小さなことでも今お持ちの情報をお寄せいただいたり、まちなかの花壇などを清掃したりするなど、何らかの形でかわっていただきたいと思います。

体験メニューが増えれば、人と人とのつながりが生まれ、そこからコミュニケーション機能がでていくことによって、地域間の垣根もとれた市全体の一体感につながると期待しています。

連合会は、お客さんが欲しい情報をすぐに提供したり、周遊コースなどを案内したりする総合インフォメーション機能の役割を担いたいと考えています。そして、このさとやま博を通じて、二元的に庄原の情報を全国に発信し、庄原というまちを全国に自慢したいと思っています。

市民の皆さんの参加で、さとやま博と庄原を盛り上げていきましょう。

## さとやまびと

### ③ 癒しの苔玉づくり



口和  
桑野 歩さん

苔玉とは、山野草などの根を土で覆い丸めて苔で巻いたものです。伝統の苔玉は、土づくりが基本。さまざまな種類の山野草を使うことでバリエーション豊かな苔玉を作ることが

できます。器を替えると雰囲気が変わったり、レトロな雰囲気が楽しめるのも魅力です。田舎の風景を閉じ込めた苔玉を持ち帰ってもいい、庄原を感じてもらおうこともできます。現在は、講師として講習会などに出席家を空けることが多いので、将来的には住家を拠点にして、好きな材料を選んでいただきながら苔玉づくりを楽しんでもらうスタイルにしていきたい。ゆつたりのおんびりした活動ができればと思っています。体験メニューでは、土づくりから体験していただき、風鈴や松竹梅を使ったお正月用の苔玉などにチャレンジしていただこうと思っています。

さとやま博に期待するのは、リーダーです。それには、メニューとメニューをつなげるような取り組み、おすすめのおさやま体験コースなどがあればいいと思います。田舎と都市の交流がもたらす増えればいいですね。



### ④ 田舎体験のお宿づくり



川北  
森本 千尋さん

東京で一度就職していましたが、田舎暮らしをしたいという思いにかられ、母の実家がある庄原に1ターンしてきました。空家となった母の実家を再生し宿にしようと、現在修繕

に取り掛かっています。当初思い描いていた通りにはいかず、ほとんど行き当たりばったりでしたが、地域の皆さんに助けられながら来月4月のオープンに向け少しずつ整備しています。お客さんには、宿の周辺の草刈や畑仕事、家の修理など一緒に汗を流してもらったり、栽培している野菜を収穫して調理して食べてもらったりするなど、さとやまにある田舎暮らしをそのまま体験していただこうと思っています。そして、調理には地元のお母さん方を講師に迎えるなど、お客さんを地域で受け入れていく雰囲気を作っていき、気持ちよく泊まっていただけ宿にし

ていきたいと思っています。さとやま博には起爆剤としての役割を期待しています。これから実施していくものが庄原に根付くように、しっかりとレールを敷く必要があると思います。また、私たちが参加している者同士が交流できる企画などがあれば、横のつながりが持て、プラスアルファが期待できると思います。



## 主な秋のイベント

10月9・10日	口和モーモー祭	口和総合運動公園
10月11日	和太鼓と花火の響演	備北丘陵公園
10月14日	綿陽市文化芸術団公演	庄原市民会館
10月16・17日	さとやま手作りアートフェスタ	備北丘陵公園
10月17日	「写真が語るさとやま」シンポジウム	庄原市ふれあいセンター
10月17日	ふれあい東城まつり	東城小グラウンドほか
10月23・24日	比和やまびこ祭・庄原みりの祭典'21	比和総合運動公園
10月29日	大相撲庄原さとやま場所	庄原市総合体育館
11月3日	お通り	東城町市街地
11月6日	カープ野球教室	総領なかつくに公園ほか
11月7日	帝釈もみじまつり	帝釈自治振興センター

## 秋のさとやまイベント情報!!

食欲の秋、実りの秋。庄原の秋はイベント真つ盛りです。毎年恒例のイベントやさとやま博企画イベントなど、楽しめるイベントが市内各地で開催されます。今年も、2年に1度の口和モーモー祭や半世紀ぶりに開催される大相撲庄原さとやま場所もあり、見どころが盛りだくさんです。スタンプラリーもありますので、ぜひ会場に足をお運びください。



# 育男

[ IKUMEN ]

## イクメン

仕事も子育ても大切にしたい!!

10月は「仕事と家庭を考える月間」です。

「イクメン」とは、育児(イクジ)を積極的に楽しむ男性(メンズ)のことです。仕事はもちろん、家庭や子育ての時間も大切にしたいと考える男性が増えていきます。父親が子育てに関わることは、子どもだけでなく父親自身の成長にとっても、夫婦関係にとっても大切なことです。イクメンを通して、「仕事と家庭」について考えてみましょう。



積極的に育児にかかわるよう一大ムーブメントを巻き起こすべく、今年6月に「イクメンプロジェクト」を発足。ここでは、育児体験談や企業の事例の紹介、セミナーなどを行っています。

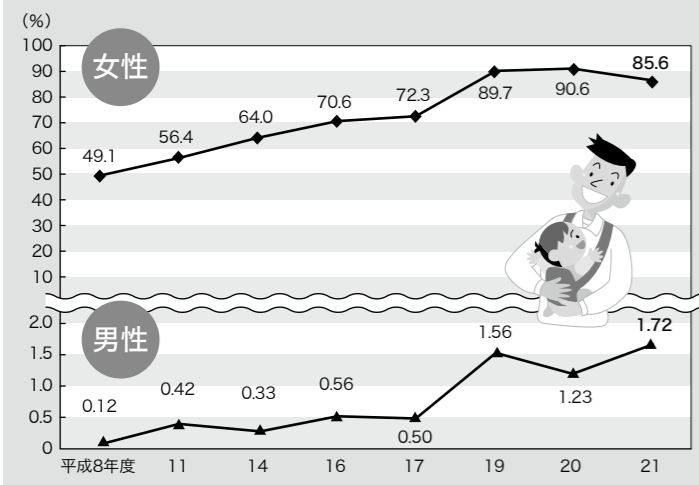
### 父親の育児休業

現在、約3割の男性が育児休業を取得したいと考えています。実際の取得率は17.2%と大変低く、希望と現実に大きな差があります。その原因として、休業中の収入の問題や「職場に迷惑をかけるのでは」「昇

進に影響があるのでは」という気持ち、あるいは「育児は女性がするもの」という固定的な意識が残っていることなどがあります。しかし、育児をとった男性からは「妻の大変さが分かって、家事などを協力するようになり、夫婦の絆が深まった」「子育てを通して経験したことが、仕事にも良い影響を与えた」という声があります。

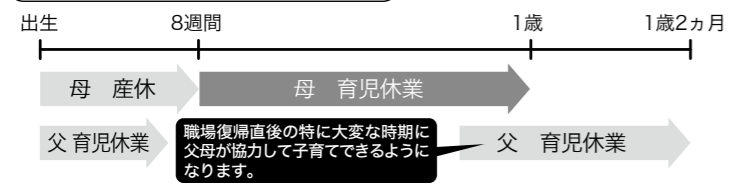
また、雇用保険からの給付や、有給休暇と組み合わせ、出産後の身体がしんどい時に家事を協力するなどすれば、妻も助かり気分転換もできます。

### 育児休業取得率の推移



出産者のうち、調査時点までに育児休業を開始したものの数(開始予定の申出をしている者を含む。)の数  
 育児休業取得率 =  $\frac{\text{出産者のうち、調査時点までに育児休業を開始したものの数}}{\text{調査前年度1年間の出産者(男性の場合は配偶者が出産した者)の数}}$   
厚生労働省 平成21年度「雇用均等基本調査」より

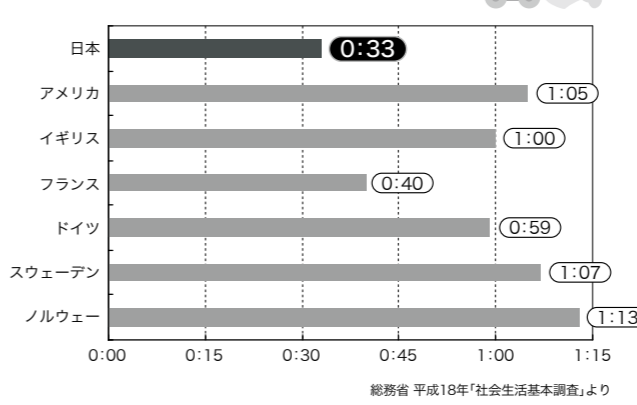
### 育児・介護休業法改正後の取得例



### 家庭を大切にとは思っけど…

家庭や子育ても大切にしたいと考える男性が増えているものの、日本の男性が家事・育児にかかわる時間は、先進国の中でもとても短く、妻が専業主婦であっても、共働きであっても、1日の育児時間は約30分という結果が出ています。これは、男性の長時間労働や、会社に遅くまで残っているほど仕事熱心だとみなされる風潮なども影響していると考えられます。

### 6歳未満児を持つ男性育児時間

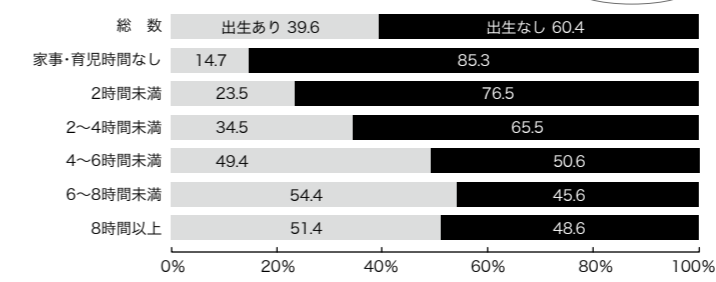


### イクメンは社会を変える!?

日本では少子高齢化が急速に進行

しており、出生率の回復と、労働力人口の確保が大きな課題になっています。この課題克服に「イクメン」の存在が注目されています。イクメンが増えることは、妻である女性にも影響を及ぼします。夫の家事・育児時間が長いほど第2子以降が生まれる割合が高いという統計もあり、出生率の回復や女性の就業率の向上などが期待されています。

### 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの6年間の第2子以降の出生の状況



注:1)集計対象は、①または②に該当する同居夫婦。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。  
 ①第1回調査から第7回調査まで双方から回答を得られている夫婦  
 ②第1回調査時に独身で第6回調査までの間に結婚し、結婚後第7回調査まで双方から回答を得られている夫婦  
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第6回調査時の状況。  
 3)6年間で2人以上出生ありの場合は、未子について計上している。  
 4)総数には、家事・育児時間不詳を含む。  
厚生労働省「第7回21世紀成年者縦断調査」より

厚生労働省では、社会全体で、男性がもっと積極的にイクメンプロジェクト! 始動!



### 育児・介護休業法が改正

育児・介護休業法が改正され、今年の6月30日に施行されました。主な改正点として①配偶者が専業主婦(夫)や育児休業中であっても、育児休業の取得が可能②父母ともに育児休業を取得する場合、子どもが1歳2カ月に達するまでに休業可能期間が延長③出産後8週以内に父親が育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても再度の取得が可能など、これまでより取得しやすくなりました。

### 企業にとってのメリット

企業にとって、育児休業の取得促進など、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現することは、優秀な人材の確保、生産性の向上などのメリットがあり、成長戦略の一つとして位置付けられています。中小企業でも、従業員が生き生きと働き続けられる柔軟な環境づくりが、業績アップにつながった事例が多くあります。国もいろいろな支援制度を設け、両立支援企業をバックアップしています。

### 企業向けの国の支援制度

※詳しくは、厚生労働省ホームページを参照ください。

- I 中小企業子育て支援助成金**  
一定の要件を備えた、育児休業取得者が初めて出た中小企業事業主(労働者数100人以下)に助成金が支給されます。
- II 事業所内保育施設設置・運営等助成金**  
事業所内に労働者のための保育施設を設置・運営したときに助成金が支給されます。
- III 両立支援レベルアップ助成金**
  - ①代替要員確保コース  
育児休業終了後、育児休業取得者を原職または原職相当職に復帰させる旨の取扱いを労働協約または就業規則に規定・代替要員の確保・育

- 児休業取得者を原職などに復帰させた事業主に、一定額助成されます。
- ②休業中能力アップコース  
育児休業者がスムーズに職場復帰できるよう、職場適応性や職業能力の維持回復を図る措置(職場復帰プログラム)を実施した事業主・事業主団体に支給されます。
- ③子育て期の短時間勤務支援コース  
小学校就学前(小規模事業主は3歳)までの子を養育する労働者が利用できる短時間勤務制度を労働協約または就業規則に規定し、これらの制度を連続して6カ月以上利用した場合に、事業主に支給されます。
- ④育児費用等補助コース  
労働者が、育児に係るサービスを利用する際に、それに要した費用の全部または一部を補助する制度を労働協約または就業規則に規定し、実際に費用補助を行った事業主および育児に係るサービスを行うものと契約し、そのサービスを労働者に利用させた事業主に対して、事業主が負担した額の一定割合が助成されます。

市内にも育児に積極的なイクメンがいます。  
そのうち二人にお話しを伺いました。



山本 貴央 さん  
39歳 西本町

「育児へのかかわりは少しずつ、無理しないこと」と山本貴央さんは笑顔でこう語ります。

市内の製造会社に勤務する山本さんは、専業主婦の美代子さんと愛娘の唯乃ちゃん(1歳2カ月)の3人で、市内にアパートを借りて生活しています。

「帰宅はいつも夜8時から9時くらい。本当はもう少し早く帰りたい」と理想を語る貴央さんは、帰宅するとすぐ唯乃ちゃんをお風呂に入れるのが日課。お風呂を済ませると服を着せ、一緒にご飯を食べた後、食事をかたづけ、唯乃ちゃんを寝かし付けます。

「はつきり言っていたいことはしていません。でもオムツ替えは得意ですよ」と謙遜して話す貴央さん。唯乃ちゃんが寝付いた後は、毎日、今日の出来事を振り返る夫婦の時間にしていて、ほとんどが唯乃ちゃんの話になるといいます。

そんな貴央さんも、最初から積極的に育児にかかわっていたわけではありませんでした。唯乃ちゃんが産まれて間もないころは、帰宅してもテレビを見ることなく横になってテレビを見るなど、育児はほとんど美代子さんに任せっきり。そんな状況が続いたある日、美代子さんの我慢が限界に達し、積み重なった不満を爆発させま

した。「なんで何もしてくれんのか!手伝ってよ!!」。貴央さんは「こんなに思い悩んでいたのかとショックを受けました。だけどこの言葉がきっかけでようやく目が覚めた」と胸の内を語ります。それから見えるように育児に関わるようになった貴央さんに、美代子さんは「身体的にも気持ち的にもすごく楽になった」とうれしそうに話します。そんな美代子さんになるべく負担をかけまいと、苦手な食事づくり以外は自分ができる範囲で何でもするように心がけている貴央さんは、で

きるだけ育児に関わる時間を増やしたいと、早く帰宅できるように始業時間よりも1時間以上も早く出勤して仕事をこなしています。「何をしないといけないということではなく、できることを少しずつするだけでいいのは、自分がそうですから」と同じ子を持つ父親に向けてアドバイスを送ります。近く、ひだまりの会の勉強会に行くという貴央さん。「妻にも少しは遊びに出かけられる時間をつくってあげたい」とさらに上のイクメンを目指します。



唯乃ちゃんの遊び相手はいつも貴央さん



小野 英人 さん  
34歳 東城町

「とにかく子どもが大好き」と話す英人さん。

現在、東城町内の病院へお勤めの英人さんは、妻の夕妃さん、長女の友莉ちゃん(9歳)、次女の友愛ちゃん(8歳)、長男の太士くん(6歳)の5人で自宅に暮らしています。

英人さんは、男性では珍しい「育児休業」取得者として、地域でも話題になりました。

平成16年9月に、小野さん夫妻にとって3人目の子ども太士くんが誕生。当初は、友莉ちゃん友愛ちゃんの時と同じく夕妃さんが育児を取るつもり

でしたが、産休明けが近付いたころ、勤務先の状況が心配になった夕妃さんが英人さんに相談しました。小野さん夫妻は、子どもが1歳になるまではできるだけ親の手で育てたいと思っていたので、「妻がだめなら、じゃあ自分」と英人さんが一念発起。

まずは、とにかく職場にお願いしてみようと、当時の勤め先の上司のもとに夫婦で足を運びました。「不安がありました。同僚も驚いていましたが、反対することなく気持ちよく背中を押してくれました」と当時の振り返ります。業務の引継ぎもうまくいき、夕妃さんの産休明けから約10カ月間の育児休業に入りまし

た。「上の2人のお姉ちゃんをみていたので、ある程度はやれる自信がありました」と英人さん。太士くんの世話、洗濯、掃除などの家事もうまくこなせました。ただひとつ料理だけは違ったと言います。「何度か夕食を作りました



が、もともと料理は苦手な手際も悪くせんぜんダメでした。これを毎日続けるくらいなら働いたほうが楽だと思いました。夕妃さんの苦勞やすごさを身をもって知った英人さんは「子どものいる男性には、ぜひ自分と同じ経験をしたい」と呼びかけます。夕妃さんも「育児が重労働であることを知ってくれただけでもよかったです」と喜びを語ります。ただ、男性の育児休業取得は、周りの環境やサポートがないと無理と言いつつ切ります。「今の職場では、仕事をみんなで行い、みんなでできるようにしていこうと話しています。自分と同じように、育児や介護などで休みが必要な職員が気持ちよく休めるような職場環境を整えたい」と語る英人さん。



今年3月 男性の家庭参画講座「パパとつくる絶品?手打ちうどん講座」の様子

「少子化の歯止めは男性の育児参加が不可欠」と庄原市の将来をおもんばかりながら、育児にもっと積極的にかかわるイクメンが増えて欲しいと願っています。

イクメン、育児子育てに関する悩み、疑問、問い合わせなどは、女性児童課子育て支援係(☎0824-731-0051)または男女共同参画係(☎0824-731-243)へお気軽にお電話ください。



# 綿陽市・庄原市 友好協定締結20周年記念式典に参加

## 友好と交流の 絆を深める



企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

滝口季彦庄原市長を団長とする庄原市友好訪問団5人と、宮本昭夫庄原市日中親善協会会長を団長とする庄原市市民友好訪問団52人が9月19日から、中国四川省綿陽市を訪れました。

- 位置 中華人民共和国西南地区の四川盆地北部(四川省の省都である成都から91km車で約1時間半) 20,249km<sup>2</sup>(広島県の約2.4倍、庄原市の約16.2倍)
- 面積 約530万人
- 人口
- 地形 西北部は山地と丘陵地一般的に高度海拔500m以上 中部と東南部は浅い丘陵平均海拔500m以下 亜熱帯気候 冬温暖で霜期は短い。 春の訪れは早く夏は長い。 年平均気温は約16℃、年間降雨量は約980mm程度
- 気象
- 主要農産物 水稲・小麦・綿・柑橘・りんご・油料作物など

庄原市と綿陽市が、平成2年(1990年)に「経済技術友好協力協定」を締結して、今年で20周年の節目を迎えました。これを記念して9月20日、綿陽市で記念式典が開催され、庄原市と綿陽市は、改めて未来を展望し、両市の友好発展に努力していくことを表明しました。

今回の訪問を通して、これまで積み重ねてきた20年の歴史を祝い、両市の間で友好と交流の絆を深めることができました。

### 交流を深めた3日間

綿陽市へ19日に到着した訪問団は、早速歓迎会に臨み、曾万明綿陽市長ら関係者から熱烈な歓迎を受けました。

翌日には、綿陽市内の劇場で記念式典が行われ、政府関係者をはじめ綿陽市民ら総勢約400人が列席。厳かな雰囲気の中、黄正良綿陽市副市長が、「四川大地震の際、義援金を寄贈していただいた庄原市の恩義に改めてお礼申し上げ、両市の友好信頼関係が未来に続くことを努力する」と力を込めあいさつ。続いて滝口市長は「綿陽市は、第2のふるさとであり、両市の友好関係の発展を願うことはもちろん、新たな友好の歴史を築くため、庄原市民とともに情熱を傾注したい」とあいさつを述べました。その後、庄原市を代表して西城町神楽愛好会が神楽を披露し、

綿陽市側からは、綿陽市大北川芸術団による四川大地震をテーマとした大型舞踊劇が演じられました。

訪問団は、2年前の四川大地震で最も被害の大きかった北川県も視察。当時、壊滅的な被害を受けた被災地の中心には現在、慰霊碑が建立されており、訪問団全員で献花し犠牲者の冥福を祈りました。

また、10年前の友好協定締結10周年記念事業で、建設費の一部を庄原市が補助して建設された庄原綿陽友好小学校を訪問し、同校の児童による歓迎の踊りを観賞したり、授業風景の見学や児童たちと交遊を行ったりするなど、笑顔あふれる子どもたちと直接触れ合いました。

3日目には、滝口市長ら庄原市友好訪問団は現地農家の視察や、四川省人民対外友好協会を訪問しました。



北川県の街を安全な地域へ移転・再建した説明に聞き入る訪問団



四川省人民対外友好協会で見聞交換



友好小児童による歓迎ダンス



現地農家を視察

## 綿陽市文化芸術団 庄原市公演

庄原市・綿陽市友好協定締結20周年記念事業として、綿陽市文化芸術団を招聘し、公演および綿陽市のパネル展を実施します。歴史と伝統に育まれた中国四川省の芸術・文化を身近に感じることができるとなない機会です。ぜひともご覧ください。

### 公演概要

とき 10月14日(木)18時30分(開場/18時)

ところ 庄原市民会館

入場料 1000円(中学生以下無料)

チケット販売場所 企画課・市民生活課および各支所企画調整室・市民生活室

### 綿陽市パネル展

綿陽市内の観光地や四川大地震の被害状況などを写真と解説文でパネル展示をします。

とき 10月12日(火)〜15日(金)

ところ 市役所市民ホール(ただし、14日(木)は、公演会場の市民会館に設置します)



# 三楽荘保存活用 検討委員会 報告



保存活用を進める  
事業展開の3つの柱

●登録有形文化財への登録

●歴史・文化資料など展示館としての活用

●東城らしい町屋のおもてなし

保存・維持・活用に  
向けての整備方針

市は、三楽荘保存活用検討委員会(委員15人、野原建一委員長(県立広島大学名誉教授))を設置し、平成21年7月に取得した「三楽荘」(東城町東城)の保存活用策を検討してきましたが、このたび、その方針を取りまとめました。平成20年に策定した「東城まちなみ再生報告書」で定めた理念や将来像、事業推進の方針に沿って、三楽荘の文化的な価値や歴史、現状を踏まえ、三楽荘保存活用のコンセプト(基本的な考え方)や保存活用を進める3つの柱を設定しました。

## 基本的考え方

●東城の歴史と文化を伝える、誇りあるランドマーク  
※ランドマークとは、象徴的建物のこと

三楽荘(旧保澤家)は、時代とともに酒造や醤油造、旅館業と生業が変遷してきましたが、もつともにぎわい、華やかだった明治末期から、昭和初期の商家の時代への復元を前提として保存・維持、活用します。

## 管理運営に関する考え方

当面は、歴史・文化資料展示室の資料などの準備期間などを含め、市が直営で管理運営を行います。将来的には、目的に沿った運営を前提に、より効果的、効率的な管理運営のあり方を検討し、維持管理運営の経費のコスト削減と魅力ある運営実現を図っていきます。

また、適正な維持管理や運営を進めていく上で、学識経験者や市民が参画した運営協議会の設置も検討します。



三楽荘保存活用報告書に係る市民報告会

三楽荘に関する問い合わせは、東城支所地域振興室(☎08477・2・5003)まで。

## 口和・君田が間近に

# 備北西部 地区農道

### 全線開通

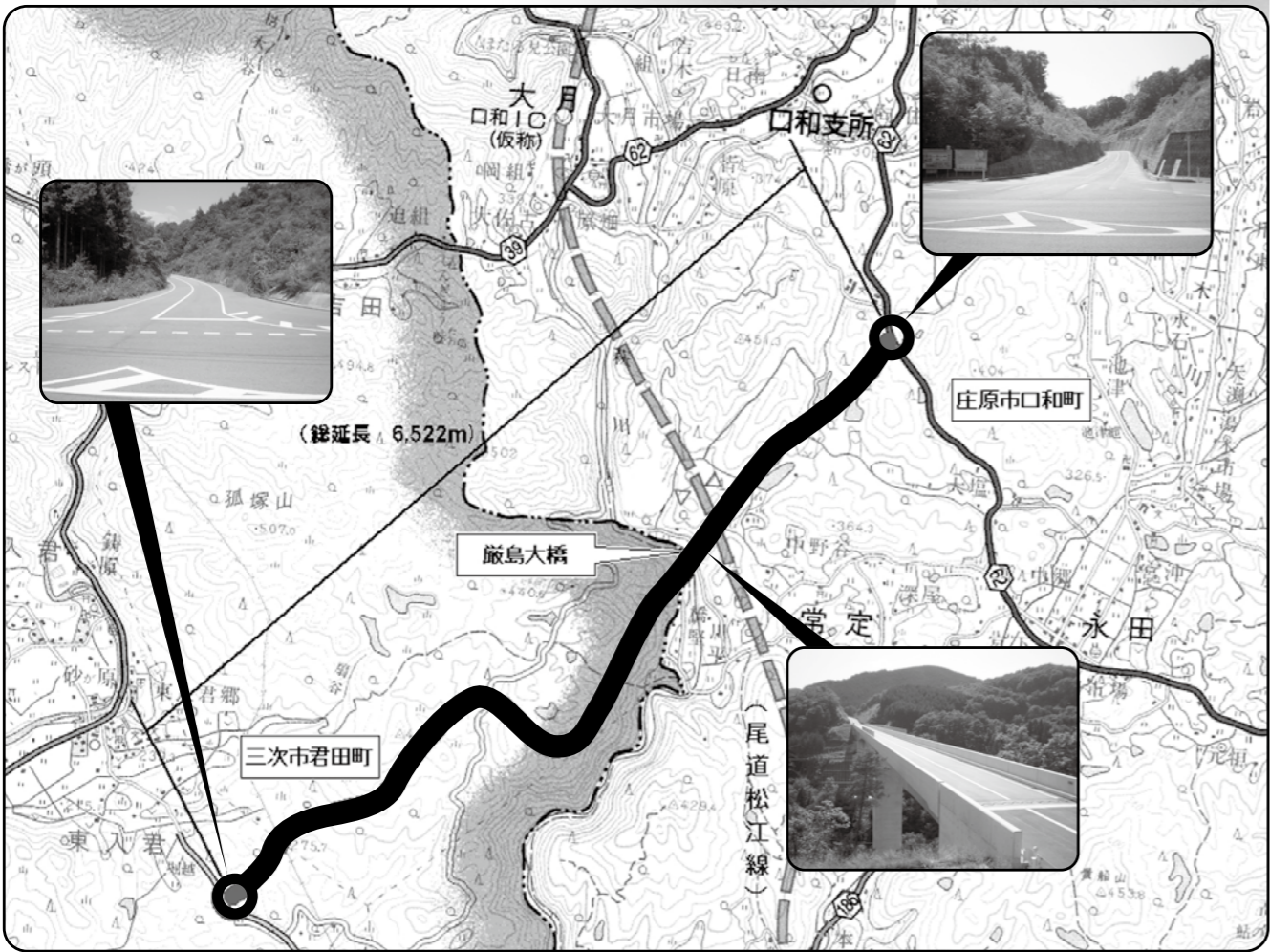
農村整備課管理係 ☎0824・73・11137



庄原市口和町と三次市君田町を結ぶ備北西部地区農道の工事が完了し、口和と君田区間(総延長6522m)が全線開通しました。工事は口和、君田の両側からスタート、今年3月に全ての工事が完了し、7月9日に県から市に引き渡されました。

この農道は、県が備北西部地区広域営農団地農道整備事業により平成7年度から工事を開始したもので①事業地区の各生産団地とカントリーエレベーター、堆肥処理施設、水稲の育苗施設などの農業施設を

結び、生産から集出荷に至る流通条件を改善する②畜産廃棄物を堆肥処理施設で集中処理し、野菜団地へ有機肥料として安定供給を図る、ことを目的として整備されました。この農道の開通により、既存の道路に比べて口和と君田間が近くなり、幅員も広く、急傾斜や急カーブが解消され、安全走行が可能になりました。三次市との境には、延長1977mの厳島大橋が架かり、壮大な景色を眺めながらのドライブにも最適です。ぜひご利用ください。



# 私たちが行政相談委員がお聞きします！



毎日の暮らしの中で、国や県市の行政に対して、「納得できない」「どうしたらよいかわからない」「こうしてもらいたい」といったことを感じたことはありませんか？

市には、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員が配置されています。各地域を担当する7人の行政相談委員が、市民のみならずの行政に対する苦情や意見・要望をお聞きし、助言や行政機関との橋渡しをしています。

秘密は固くお守りしますので、お気軽にご相談ください。

各地域の行政相談委員と定期相談日・受付時間、相談場所は次のとおりです。

(表内の番号は①自宅電話番号②10月以降の定期相談日③定期相談場所です)



庄地域  
中山 忠昭

①☎0824-72-5873  
②毎月第3木曜日  
13時30分～16時30分  
③庄原市ふれあいセンター  
☎0824-72-7120



西城地域  
作田 ユリコ

①☎0824-82-3048  
②10・12・2月の第3木曜日  
13時30分～16時30分  
③西城保健福祉総合センター  
☎0824-82-2202



東城地域  
毛利 妃沙恵

①☎08477-2-4027  
②毎月第3木曜日  
13時30分～15時30分  
③東城ふれあいセンター  
☎08477-2-0909



口和地域  
石田 涼也

①☎0824-89-2022  
②11・2月の第3木曜日  
13時30分～16時30分  
③口和老人福祉センター  
☎0824-89-2320



高野地域  
小川 益丸

①☎0824-86-2222  
②10月19日・12月4日・  
2月22日 9時～12時  
③高野支所  
☎0824-86-2115



比和地域  
村尾 孝吉

①☎0824-85-2209  
②毎月第3木曜日  
13時30分～15時30分  
③比和文化会館  
☎0824-85-2600



総領地域  
秋山 義治

①☎0824-88-2217  
②毎月10日(ただし10月は13日、  
1月は12日) 9時～11時  
③総領健康福祉センター  
☎0824-88-3110

- 都合により、日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
  - 定期相談日以外の日にも、各委員の自宅で相談に応じています。
  - 中国四国管区行政評価局(広島市中区上八丁堀6-30)でも行政相談を受け付けています。
- ☎082-222-1100 (行政苦情110番)  
問い合わせ 市民生活課生活安全係(☎0824-73-1154)または各支所市民生活室

## 多くの災害義援金・救援物資をありがとうございました。

7月16日の豪雨による災害発生に伴い、自衛隊や警察、消防署、消防団をはじめ、各方面の方々に迅速に対応していただきとともに、市内はもとより全国各地から救援物資や義援金をお寄せいただきました。被災現場で土砂搬出作業などにあたっていた皆さまに多くのボランティアの方々、多方面からのご支援により、被災者の方も随分勇気付けられました。ここに厚くお礼を申し上げます。

現在までに寄せられました救援物資、義援金の受入状況並びにその配分についてご報告します。

なお、災害義援金の受け入れは、11月末日をもって終了します。

### 救援物資 (9月16日現在)

- 受入件数 / 1888件
- 主な救援物資  
飲料(水、お茶、ジュース、コーヒー)、栄養ドリンク(ほか)・食料品(パン、弁当、カップめん、缶詰、インスタント食)

品、味噌、醤油(ほか)・寝具類(布団、マットレス、毛布、タオルほか)・扇風機・軍手・ゴム手袋・田靴・棒ブラシ・石けん・老眼鏡・トイレットペーパー・マスク・消毒薬・各種衣料品・菓子・アイスクリーム・スイカなど。

### 義援金 (9月16日現在)

- 受入件数 / 1386件
- 金額 / 5871万1266円

### 7月16日庄原市ゲリラ豪雨 災害義援金受入状況内訳 (9月16日現在)

#### 1 総件数および総額

項目	計
件数	1,386件
金額	58,711,266円

#### 2 個人・団体(会社含む)別

項目	個人	団体	不明(匿名含む)
件数	900件	452件	34件
金額	10,329,281円	48,076,922円	305,063円

#### 3 市内・市外別

項目	市内	市外	不明
件数	642件	529件	215件
金額	35,294,643円	19,330,005円	4,086,618円

注) 口座振込み分について住所情報が無いものは不明とした。

#### 4 金額別

項目	100万円以上	100万円未満～10万円以上	10万円未満
件数	12件	106件	1,268件
金額	21,113,400円	23,001,817円	14,596,049円

### 義援金の配分について

市は、義援金配分検討委員会を9月7日に開催し、義援金の配分を協議・検討しました。これを踏まえ、第1次配分を次のとおり決定しました。

#### 1. 人的被害

- ①死亡者・行方不明者 30万円/人
- ②重傷者 15万円/人

#### 2. 住家被害

- ①全壊 290万円/世帯
- ②大規模半壊 230万円/世帯
- ③半壊 145万円/世帯
- ④床上浸水・一部損壊 30万円/世帯
- ⑤床下浸水(土砂流入を伴うもの) 3万円/世帯

注1) 住家とは、被災時に実際に生活していた家屋とします。空家や作業小屋などは対象になりません。  
注2) 住家被害は、市が申請を受けて判定した、り災証明の認定の区分に基づきます。

### 庄原市名誉市民 山口信夫さん 逝去



庄原市名誉市民の山口信夫さんが、9月14日に亡くなられました。

謹んで、哀悼の意を表し、市民の皆さまにお知らせします。

山口さんは、大正13年12月23日、総領町稲草で誕生。東京商科大学(現・橋大学)を卒業後、旭化成工業株式会社(現旭化成株式会社)に入社、同社代表取締役会長、代表取締役名誉会長を務められました。

平成13年7月には日本商工会議所会頭、平成19年11月には同会議所名誉会頭に就任され、地域経済や中小企業の活性化に尽力されました。また、政府、産業界の数々の要職にも就かれ、日本の発展に広く貢献されました。



NO.01

みんなで「庄原市のまちづくり」を進めよう  
庄原市まちづくり  
基本条例(仮称)を  
策定しています

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209

まちづくり基本条例って何？

まちづくりの主体となる、市民・議会・行政が、庄原市をもっと暮らしやすいまちにするために、共に考え、協力し合い、行動するための「基本的な約束」です。

条例はどうして必要なの？

現在、自分たちが住んでいる地域の課題や要望に対して、それぞれの自治振興区、各種活動団体、個人などたくさんの人たちが主役となって「まちづくり」が進められています。しかし、市民と議会、行政が共にまちづくりを進めていく仕組みは、これまで十分には整っていません。

した。

条例を定めることで、それぞれがルールにのっとって、お互いの立場を理解し合いながら協力して「まちづくり」を進めることができると考えています。

どうやって条例をつくるの？

「みんなでつくる」のが目標です。行政だけ、市民だけでつくるのではなく、「みんなで力を合わせてまちづくりをおこなうこと」を市民・議会・行政が共に考え、一緒になってつくっていきます。今後は、アンケートの実施やフォーラムの開催を予定しています。皆さんの「まちづくりに対する思い」をお聞かせください。



庄原市まちづくり基本条例(仮称)策定委員会を設置

まちづくり基本条例(仮称)の素案をつくるために、策定委員会を設置しています。

各地域から2人ずつ14人、学識経験者1人、公募3人、市長が必要と認める者1人、市職員2人の計21人が策定委員に委嘱されました。

第1回策定委員会を本年2月2日に開催。これまで8回の会議を重ね協議を進めてきています。

なお、策定委員会の会議は公開していただきますので、傍聴を希望される方は自治振興課☎0824-73-1209までお問い合わせください。ご意見もお待ちしております。



Check! どう思う? 「みんなでまちづくり」

「できている」と思う場合は□へチェックしてください。

- Q1 市の情報は、市民に分かりやすく十分に伝わっている
- Q2 あなたは、地域活動へ積極的に参加している
- Q3 市が行う政策に、市民が意見を言ったり参加したりする場や機会がある
- Q4 市民の意見や要望が、しっかりと市政に反映されている
- Q5 市民・議会・行政がお互いに助け合い、連携し、協力してまちづくりが行われている

全部チェックできる「まちづくり」をみんなで進めよう!



気をつけて!!  
地デジ詐欺にご注意!!

政策推進課地域情報係 ☎0824-73-1113

平成23年7月の地上デジタル放送への完全移行が迫る中、全国各地でテレビ放送のデジタル化に便乗した詐欺が発生しています。身におぼえない工事や代金請求にご注意ください。

地上デジタル放送に関する詐欺 悪質商法の事例

①知らない差出名で「地上デジタル放送接続料金請求書」と書かれた手紙が届き、料金を支払わないと地デジが見られないと書かれている。  
⇒このようなことはありません。架空請求の疑いがあります。

②総務省やテレビ局の名前が書かれた手紙が届き「地上デジタル放送切り替え助成金」が支給されるので、手数料を支払うよう書かれています。  
⇒このような助成金は存在せず、手数料の支払いを求めることもありません。

だまされないために

このように不審なことがあった場合は、すぐに次の問い合わせ先にご相談ください。

問い合わせ

総務省中国総合通信局デジタル放送受信者支援室  
☎082-222-3429

総務省広島県テレビ受信者支援センター(デジサポ広島)

☎082-553-0101

庄原警察署

☎0824-72-0110

庄原市消費生活センター

☎0824-73-1228

政策推進課地域情報係  
☎0824-73-1113

Relief security days

安心・安全な毎日のために

地震から身を守るために

庄原消防署 ☎0824-72-9911  
東城消防署 ☎08477-2-4005



「グラツキきたら、まず落ち着いて身の安全を確保する」

突然、地震に襲われた時、私たちは適切な行動がとれるでしょうか?

全国各地で、毎年のように地震などの災害が発生し、多くの被害が出ています。大きな被害をもたらす地震災害は、ある時突然やってきます。こうした災害に遭ったとき、あなたはどうしますか?

被害を最小限に抑えるためには、皆さん一人一人が災害に対する正しい知識を身につけ、いざという時に落ち着いて的確な行動をとることが重要です。

地震への備えは

- ①倒れそうな家具は固定し、落下の危険があるものを取り除くなど、家中を点検しておきましょう。
- ②懐中電灯や携帯ラジオなど、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ③安全な避難経路、場所を家族で確認し合っておきましょう。

屋内にいて地震が起きたとき

- ①テーブルや机の下などにもぐり、落下物から身を守りましょう。
- ②火を使っている場合は、すぐに消しましょう。ただし揺れの最中は危険です。
- ③揺れの小さいうちに、ドアなどを開けて避難口を確保しましょう。
- ④室内でも、スリッパや靴を履いて行動しましょう。

屋外にいて地震が起きたとき

- ①バッグなどで頭を保護し、落下物や窓ガラスが飛び散る場所から安全な場所へ避難しましょう。
- ②切れた電線や垂れ下がった電線には近づかないようにしましょう。

地震後の行動と注意

- ①ガスの元栓を締め、電気器具のプラグを抜きましょう。
- ②テレビやラジオで最新の正しい情報を聞くようにしましょう。
- ③隣近所で、ケガ人を助けたり、初期消火など助け合うことが大切です。



生涯学習課

出場者に熱いエールを送る  
全国大会等出場者壮行式

文化・スポーツ部門で全国大会などへ出場する選手の壮行式が9月16日、市役所で行われ、出場者をはじめ関係者や家族などが出席しました。式では、滝口季彦市長と竹内光義市議会議長が激励のあいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。出場者を代表して、全国都道府県対抗中学バレーボール大会へ出場する西田智美さんが決意表明を行いました。大会での活躍を誓いました。



出場者を代表し、西田さんが決意表明

大会出場者(敬称略)

- アジア競技大会(競泳女子平泳ぎ)
- 世界短水路選手権(女子平泳ぎ)
- 国民体育大会水泳競技(競泳成年女子1000m平泳ぎ)
- 金藤理絵(東海大学4年)
- 国民文化祭・おかやま2010演劇祭(現代劇)
- 寺迫隆子(板橋町)
- 信清ゆく子(新庄町)
- 中原幹枝(新庄町)
- 宗信樽子(板橋町)
- 新丸繁子(板橋町)
- 森元静美(板橋町)
- 国民体育大会なぎなた競技(少年女子演技競技)
- 足立朱穂(庄原実業高3年)
- 国民体育大会陸上競技(少年男子A5000m)
- 藤川拓也(世羅高3年)
- 国民体育大会卓球競技(少年女子団体戦)
- 山岡紗瑛(近大付属福山高3年)
- 全国健康福祉祭いしかわ大会(ゴルフ競技)
- 中田章治・堀井秀昭・前田忠邦(いずれも西城町)
- 全日本杖道大会

工商観光課

気軽に「恋活」鯉(カブ)も勝つ!  
コイカツ!!カープ応援ツアー開催

庄原市男女の出会いサポート実行委員会主催の出会いイベント「コイカツ!!カープ応援ツアー2010」が、9月4日に開催されました。市内在住の独身男女を対象に、マツダスタジアムで広島東洋カープと一緒に応援しながら、仲良くなつてもらふことを目的に企画したイベントです。「婚活」よりも気軽に参加しやすい「恋活」にして、まずは異

- 谷口桃子(三次高3年)
- 谷口敦規(三次高1年)
- 廣畑翔太(庄原中3年)
- 尾原竜生(庄原中3年)
- 全国スポーツ・レクリエーション祭(マスターズ陸上競技800m・1500m)
- 波多伸樹(高町)
- 全国障害者スポーツ大会陸上競技の部(ソフトボール投・ジャベリックスロウ)
- 信清佐代子(総領町)
- (ソフトボール投・走り幅跳び)
- 西原佐津美(庄原特別支援学校高等部2年)
- 全国都道府県対抗中学バレーボール大会
- 西田智美(庄原中3年)



特別席で観戦する参加者

性の友人関係を広げるきっかけに生まれるかは今後のお楽しみです。庄原市男女の出会いサポート実行委員会では、今後も出会いイベントや出会いサポート企画を行っていきまので、対象となる方はぜひご参加ください。出会いイベントに関するお問い合わせは、工商観光課観光定住係 ☎0824・73・1179)まで。

自治振興課

身近な話題から  
地域づくりを考える

第1回井戸端サロンを開催

「地域づくりは仲間づくり」をテーマとした井戸端サロンを8月18日、25日、9月1日の3日間、市内3会場にて女性を対象に開催しました。講師に、(有)グリーンブリーズ代表取締役の平木久恵さんを迎え、女性の目から見た地域づくりについて話を聞いた後、楽しいおしゃべりの中から個々の意見を出し合うワークショップを行いました。参加者からは「いつもと違う地域の方々と地域の話が聞け、楽しく話ができたことがとても勉強になった」「共感することが話し合いを進めるためにとっても大切なことだと思う」との感想が聞かれました。

今回は、参加者同士の交流を目的としましたが、今後は参加者の思いやアイデアを



テーブルごとにおしゃべりが弾みしました

工商観光課

色鮮やかな寄せ植え  
ハンギングバスケット講習会を開催

しょうばら花会議が主催するハンギングバスケットビギナー講習会が9月11日、備北丘陵公園で開催され、市内外から80人が参加しました。

この講習会は、丘陵公園内の植栽を担当している齋木義伸さんから、寄せ植えの手法を学び、色やバランスを考えながら、オリジナルのハンギングバスケット(空中にのる植木鉢や籠に植物を植え込んだもの)を作成するもので、参加者は、



作成手法を講義する齋木副理事



寄せ植えを行う参加者

用意された約30種類の花の中から、それぞれお目当ての花を選んで植栽を行いました。中には、時間内に2つ目を完成させる人もいました。齋木さんは「皆さんの手際とセンスの良さは、初めてやられる方とは思えない」と驚いていました。9月27日〜10月7日には、さとやまガーデンングコンテストが開催され、この講習会で作成された作品も市役所内に展示されます。しょうばら花会議に関するお問い合わせは、工商観光課工商振興係 ☎0824・73・1178)まで。



REPORT ②

## 2畳のキャンパスに郷土を描く 東城発の夏の伝統行事「箱庭」

「箱庭」は一種のミニ庭園で、2畳くらいの広さの箱に、採取してきた石や砂、苔などを使い、山や谷をこしらえ水を流すなど、パノラマ風に景観をつくりあげるものです。雄橋や神龍湖など東城の自然や、お通りや夏祭りなど東城の代表的な行事がよく題材となります。旧暦七夕に書の上達を願い子どもたちが書いた作品(天満書)を幕に張り出し、箱庭と一緒に展示するのは相当古くからの習わしで、県内でも珍しい行事です。夏休みに入ると、子ども会単位で箱庭作りに取り組みます。子どもたちは、東城の自然や伝統行事を調べることで、あらためて郷土の素晴らしさを感じることができます。現在は、高齢者施設でも作成に取り組みられています。

今年も8月に町内3カ所で箱庭が展示され、10月28日には、東城小学校で開催される県北造形教育研究大会の中で、郷土の造形文化として箱庭が紹介される予定です。



▲中川西下通学区作品「大山供養田植」



▲新町 大正町 上中本町  
下本町通学区作品「雄橋」

## ヒゴタイを見ながらお茶会を 比和町三河内の古民家で

REPORT ③

比和町三河内の慶雲寺の参道脇に咲く、1mほどに伸びた「ヒゴタイ」が、ルリ色の小球状の花をつけ、8月中旬に見ごろを迎えました。

この花は氷河期に大陸から渡ってきた植物で、環境

省の絶滅危惧I B類に指定されています。ヒゴタイの保存活動に取り組んでいるヒゴタイの会が9月4日と5日、近くの民家でヒゴタイを觀賞しながらお茶を楽しむ会を企画。市内外から60人の参加があり、ヒゴタイの切り花を飾った室内で、自らたてた抹茶を飲みながら穏やかなひとときを楽しみました。ヒゴタイの觀賞のみで訪れた人を合わせると100人を超え、予想以上の盛況となりました。訪れた人は「静かな環境の中で色鮮やかなヒゴタイを見ながらのお茶会はとても感動した」「きちんと整頓された古民家でのお茶会は田舎ならではの風情がありとてもよかった」などと話していました。



▲鮮やかなルリ色のヒゴタイ



▲抹茶をたてる来訪者

REPORT ④

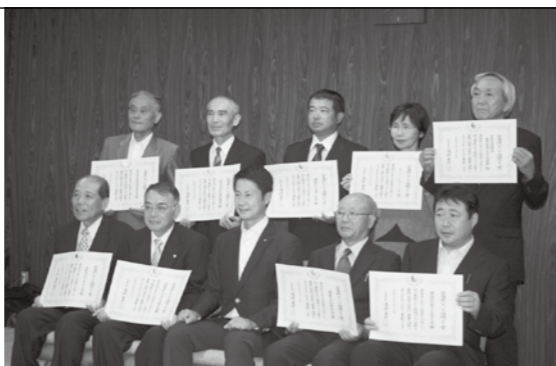
## 節分草保存会が県知事表彰 広島県いきいき地域づくり賞

総領町のNPO法人節分草保存会が「広島県いきいき地域づくり賞」を受賞しました。

この賞は、自主的な地域づくり活動で地域振興や地域活性化に貢献している団体を表彰するもので、庄原市からは昨年度の広島県雪合戦大会実行委員会に続いての受賞となりました。

本年度は県内で9団体が選ばれ、8月20日に行われた授賞式で湯崎知事から中谷理事長へ表彰状が手渡されました。

節分草保存会では、自生地、公開地の草刈りなどの保存活動や、毎年2月から3月上旬まで行われる節分草自生地公開期間中のボランティアガイドなどを行っています。



▲後列左から1人目が中谷理事長

## 庄原実業高等学校写真部が快挙！ 全国高等学校総合文化祭写真部門で4作品が入賞

REPORT ①

第34回全国高等学校総合文化祭写真部門が8月1日～5日、宮崎市で行われ、庄原実業高等学校写真部の春田真実さん(3年)が、全国1位となる最優秀賞文部科学大臣賞を受賞。このほか同写真部の山邊久美さん(2年)が優秀賞、横山遥加さん(3年)と山田智世さん(2年)が奨励賞をそれぞれ受賞しました。この写真部門には、全国各都道府県の大会で上位に

入賞した308点が出品され、そのうち30作品が入賞し、その中でも4点が入賞した高校は庄原実業高校だけという快挙となりました。

写真部顧問の森岡幸男教諭は「高校生の今しか撮れないものを撮るように指導している。高校生らしさが出たことがいい成績につながった」と喜んでいました。



①(左から2番目)最優秀賞の春田さんが出品した「悠悠人」。福山市鞆の浦で偶然出会ったおじいちゃんが笑顔でビールを飲む姿を写した作品。審査員からは「プロ写真家が撮影したのではないかと思うほどの力作」と評価された。春田さんは「声をかけ会話をしながら撮った写真の1枚。とてもびっくりしたけどうれしかった」と喜ぶ。

②(左から3番目)優秀賞の山邊さんが出品した「17歳の苦悩」。学校の廊下で頭を抱えて座り込む女子高校生の苦悩を表現した作品。「光が美しく、苦悩を象徴するようなシルエットが不思議な空間を作り出した。心の深淵を描いた技術は巧み」と評価された。山邊さんは「自分が撮りたいものを自分なりに考えて撮るよう心がけた」と話す。

③(左端)奨励賞の横山さんが出品した「星空モノクローム」。学校の玄関先の駐車場で水たまりに写り込んだ女子高校生5人をとらえた作品。「高校生らしい自由な発想で作った感性がすがすがしい」と審査員。横山さんは「いい写真を撮るには、たくさん写真を撮ること」と話す。

④(右端)奨励賞の山田さんが出品した「恋?」。男子高校生2人が相合い傘で笑顔で語り合う姿を描いた作品。審査員は「ほほえましい演出写真で笑顔が心地よい。教室から出ようとする教師の姿が、表現に奥深さを醸し出した」と評価。山田さんは「実は偶然撮れた一枚」と喜ぶ。

REPORT ⑧

おふくろの味をお腹いっぱい詰め込んで  
子育て支援事業で郷土料理づくり

口和保健センターで9月10日、子育て支援事業の一環として、おふくろの味を楽しむ会が行われました。

口和子育て支援センターが主催するこの会は、年4回開催しており今回で2回目。子育ての先輩である口和町向泉の福歳カズコさんの指導のもと、子育て情報の交換や世代間交



▲うどん作りにチャレンジ

流をしながら、郷土料理を作りました。

当日の参加者は7人と少なめでしたが、地元で栽培された小麦の粉をこねてうどんを作ったり、今年収穫したばかりのコンヒカリを使っておむすびを作ったりして調理を楽しみました。

調理終了後、近所の人たちも集まったの昼食会では、「も〜食べれん」と言いながら皆さん完食していました。



▲手打ちうどんを味わう親子

西城産いちごの可能性広がる  
ヒバゴンキッチンⅢ いちごカフェ開催

REPORT ⑨



▲いちごスイーツの盛り合わせ

西城町三坂「峠の茶屋やまびこ」で9月12日、一日だけのいちごカフェが開店し、県内外から約200人が訪れ、多彩ないちごメニューを楽しみました。

いちごカフェは、西城地域に暮らすみんなが地元の農と食について考える「ヒバゴンキッチン」の第3回目の事業として行ったもので、西城産夏いちごの付加価

値を高めPRしようと、生産者、飲食店、研究グループが協働で準備を進めてきました。

夏も涼しい道後山高原で育ついちごは、さわやかな酸味と鮮やかな紅色で、果実はしっかりしていてみずみずしいのが特長です。こうした特長を生かしたいいちごレシピを地域住民に募集したところ14点の応募があり、応募作品の中から、いちごのムース、シャーベット、白玉冷やしぜんざいなどを、専門家のアドバイスを受けてメニュー化しました。来店者からは「どれもおいしく美しくレベルが高い」「西城のいちごにも農業にも可能性を感じる」「いつもこんなカフェがあればよい」などと感想が寄せられ、中でも名物料理ヒバゴン井といちごスイーツとのセットメニューは大好評でした。

REPORT ⑩

酷暑のフィールドに、さわやかな風  
第11回ひろしまクロスカントリー大会

道後山高原クロカンパークで8月21日、第11回ひろしまクロスカントリー大会が開催され、北海道から沖縄まで全国27都道府県から、2000人を超えるアスリートがクロカンパークに集いました。

ひろしまクロカン最大の魅力は、世界を舞台に活躍するトップアスリートの走りを間近に見ながら市民ランナーや家族連れも競技を楽しめること。今年も、尾方剛、油谷繁、佐藤敦之などのオリンピック選手や、実業団に所属する10人の招待選手とともに、1歳の幼児から86歳の高齢者まで、1\*から8\*の5つのコースに分かれて挑戦しました。今大会からシャトルバスの運行を充実させたこともあり、大会運営を支える競技役員が40人余り増えて232人となりました。初めてひろしまクロ

カンの大会役員として参加したという女性は「酷暑の夏、クロカンパークも日差しは強烈ですが、吹く風はさわやか。大自然の懐に抱かれて、みんなが心をついにベストを尽くすことがこの大会をさすがにいいものになっていると思う。来年も参加したい」と話していました。



▲元気よく一斉にスタート



▲平和の誓いを述べる

過去の歴史を学び、後世へ伝える  
高暮ダムで平和の集い

REPORT ⑤

第11回高暮平和の集い並びに追悼碑前祭が9月12日、高野町のふるさと村高暮と高暮ダム朝鮮人追悼碑前で開催されました。この集いは、高暮ダム建設に伴う苛酷な工事で犠牲となった朝鮮人労働者と戦没者の方々の冥福を祈り、刻まれた史実から過去を正しく認識し、日朝韓の変わらぬ友好を誓うため、地元高暮自治振興区の主催で毎年開催されています。

今年、日韓併合条約が締結されて100年という節目の年にあたり、市内外から約100人が式典に参加しました。式典では、広島県高等学校平和セミナー、広

島朝鮮初・中・高級学校の代表による平和の誓いや参加者全員で慰霊碑に献花が行われ、ダムに向かって「アリラン」と「ふるさと」を合唱し犠牲者に祈りをささげました。式典に続いて、元中学校教諭の四車ユキコさんが「高暮ダムの歴史」や「韓国併合」について講演。参加者は、高暮ダムの史実から、平和の尊さについて学習を深めました。



▲慰霊碑に献花する参加者

REPORT ⑥

食の自立でバランスある朝食を  
永末小学校で朝食づくり

食と学びの自立をテーマに食育に取り組んでいる永末小学校が9月9日、全校児童で朝食づくりを行いました。朝食の大切さを知り、バランスの良い食事を



学ぶことを目的に取り組み始めて今回で4回目。この日にあわせ、高調理場の栄養士の方に助言を受けな

がら6年生が献立を考え、5年生が味噌汁、3・4年生がご飯、1・2年生がはし置きや花びん作りを担当しました。食材は、地元の農業生産法人などが提供し、ほとんど地元産を使用しています。佐々木 妙子校長は「この取り組みの継続が、食の大切さの意識向上につながっている。自分で朝食を作る子どもも増えており、食の自立につなげていきたい」と話しています。



▲慣れた手つきで野菜をきざむ児童



▲風鈴に俳句を書き軒先に

比和の魅力をどっぷりたんのう  
さとやまバスツアーでまちなか散策

REPORT ⑦

比和のまちなかを散策する庄原さとやまバスツアー（庄原市観光キャンペーン実行委員会主催）が8月22日に開催され、広島方面から22人の参加がありました。これは、比和まちなか活性化推進会議がツアー客の受け入れを呼びかけ、これに賛同した地元住民が、民家などの空きスペースを活用したメニューを提供しています。

この日はとても暑い日でしたが、まちなかの一軒

軒が軒先に風鈴俳句を飾っておもてなし、暑さを和らげました。参加者は、地元の方の案内で、牛市で栄えた場所、元旅館、元醤油蔵などの昔の建物や比和自然科学博物館を見学し、慶雲寺で「ヒゴタイ」を観賞しました。

また昼食では、比和特産の10割そばや山菜料理を味わい、帰り際には、朝採れアスパラガスが参加者全員にプレゼント。比和のまちを存分に堪能した一日となりました。



▲10割そばと山菜料理の説明をうけるツアー客



# 『特定健診を受けましょう!』



## 健康は早め早めの健診から!」

皆さん、年に1回行われる健康診査は受けられましたか?

健康診査は、自分の身体を調べ、病気の早期発見・早期治療に結びつけるものです。また、昨年受けられた方は昨年と比較して「自分の生活習慣が自分の身体にどのように影響しているか」を知ることが出来ます。

特に、特定健康診査(特定健診)は自覚症状がなく進行する生活習慣病を見つけるチャンスです。特定健診は、血液検査や腹囲測定など、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状態かどうかを調べる検査を中心に行います。

特定健診は、平成20年からスタートしました。「庄原市国保の健診受診率・特定保健指導実施率」は、年々上がってはいますが、目標値にはまだ到達していません。

### 庄原市国保の健診受診率・特定保健指導実施率

項目	平成20年度		平成21年度見込み
	庄原市国保	広島県平均	庄原市国保
特定健診	32.6%(40%)	17.6%	34.8%(40%)
特定保健指導	8.3%(25%)	18.2%	9.2%(30%)

( )内は目標値。「広島県平均」欄は、県内の国保の平均値。平成21年度の広島県平均は、集計中のため未計上

糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病は、自覚症状がなく、知らず知らずのうちに進行してしまいます。そして、重症化し、「がん」「心臓病」「脳卒中」を引き起こします。ちなみにこれらは日本の3大死因と言われています。

では、今年の健康診査を受けられなかった方のために、2次募集や電話での受診勧奨を行っており、まだ受けられない方も受診が出来ます。皆さん、いつまでも自分らしく元気に過ごすために健康診査を受けましょう!



保健医療課 一橋和香 荒木優

### 生活相談

身体障害者補装具判定会

〔聴覚〕 10月21日(木) 受付 13時~14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4・6・1 ※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。 ☎0824・73・1210

### 人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域 10月19日(火)・11月2日(火) 13時30分~16時30分

ところ 庄原市ふれあいセンター

●西城地域 10月14日(木) 13時30分~16時30分

ところ 西城健康福祉センター(しあわせ館)

●東城地域 10月4日(木) 13時30分~15時30分

ところ 東城ふれあいセンター

●高野地域 10月13日(水) 13時~16時

ところ 高野支所

### 比和地域

とき 10月21日(木)

13時~16時

ところ 比和文化会館

●総領地域

とき

10月12日(火)・11月10日(水)

9時~11時

ところ 総領健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会

☎0824・62・2572

### 定期巡回児童相談

北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域

とき 10月21日(木)・11月18日(木)

10時~15時

ところ 庄原市ふれあいセンター

※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。

☎0824・73・0051

●東城地域

とき 10月22日(金)

10時~15時

ところ 東城支所

※1週間前までに東城支所保健福祉室へ予約を。

☎0844・77・25131

### 障害者相談員定期相談会

〔庄原地域〕

●知的 11月8日(月)

13時30分~16時30分

ところ 庄原市ふれあいセンター

〔東城地域〕

●身体知的 11月19日(金)

10時~12時

ところ 東城支所

〔口和地域〕

●知的 10月28日(木)

9時~12時

ところ 口和保健センター

〔高野地域〕

●身体・知的 11月19日(金)

9時30分~12時

ところ 高野福祉保健センター

※事前予約もできます。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係

☎0824・73・1210

### 健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

●心の健康相談

ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

とき 10月19日(火)

13時~14時30分

ところ 市役所1階市民生活課内

☎0824・73・1228

第23回しよっぱら菊花展

しようばら菊友会会員と市内小学校児童による大菊

### 時悠館 秋の企画展

三本仕立て・だるま・福助・懸崖などの力作が展示されます。

とき 11月1日(月)~15日(月)

ところ 庄原市民会館

問い合わせ

生涯学習課社会教育係

☎0824・73・1188

●企画展開催記念講演会

とき 10月30日(土)

14時~15時30分

講師 伊藤 実さん

(広島県立歴史民俗資料館学芸課長)

演題 「ニッポン里山事始

―弥生人の暮らしと心と技―

●楨 厚子 日本画展

「崩れゆく」ほか展示作品

40点

とき 10月7日(木)~11月28日(日)

問い合わせ 時悠館

☎0844・77・60161

### 催し

第23回しよっぱら菊花展

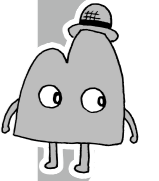
しようばら菊友会会員と市内小学校児童による大菊

とき 10月7日(木)~11月28日(日)

問い合わせ 時悠館

☎0844・77・60161

「庄原さこやま博」関連イベント



©shobara-SATOYAMA 2010-2011.

お通り
江戸時代に町の祈禱(きとう)と五穀豊穰を祈願して、町内をご神体(御輿)が巡行したことに始まったといわれる伝統行事です。

大名行列と武者行列に、華童子と山茶花の花をあしらった「母衣」が加わり、勇壮かつ華やかな行列が東城の町並みを巡行する時代絵巻です。
とき 11月3日(水・祝)12時〜
ところ 東城町市街地
問い合わせ
お通り保存振興会
☎0847720525

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

城下町の風情を残す東城のまちなみ。そのまちなみ約600坪が期間限定のギャラリーに。商店や民家にお宝や絵画、手作りの作品などが並びます。夜は「灯籠」や「あんどん」が町をやさしく照らします。歩いて、観て、食べて、体験して、心癒される東城へぜひ訪れてみてください。

とき 10月29日(金)〜11月5日(金)
9時30分〜17時
ところ 街道東城路(東城町市街地)
問い合わせ
東城町観光振興キャンペーン実行委員会
☎0847725003
(東城支所地域振興室内)

第28回ふれあい東城まつり

東城の特産品を販売するテント村をはじめ、小村美貴歌謡ショーやふれあいのど自慢などのステージのほか、おたのしみ抽選会や気軽に健康相談などができる健康広場など、誰でも楽しめる催しが盛り沢山です。
10月16日には、前夜祭として「ふれあいの夕べ」を開催します。
とき 10月17日(日)
9時〜16時
ところ 東城小学校グラウンドほか
問い合わせ
ふれあい東城まつり実行委員会
☎0847725003
(東城支所地域振興室内)

認知症介護予防講座

「元気な町・しようばらる次世代へ」をテーマに、地域からの活動報告と講演会を開催します。

いつまでも住み慣れたこのまちで安心して暮らしたい、というみんなの願いをかなえるキーワードは「お互いに支えあい、元気に生きる」です。元気の良いまちを次世代に贈るため、一人一人が安心して住み続けられるまちづくりについて、一緒に考えましょう。
とき 10月30日(土)
13時30分〜15時30分
ところ 庄原市民会館
講師
はたのりハビリ整形外科院長 畑野栄治さん
問い合わせ
医療法人社団 聖仁会
介護老人保健施設 愛生苑
☎0824728686
高年齢者福祉課高年齢者福祉係
☎0824731165

西城町生涯学習フェスティバル

西城地域の個人や団体が活動の成果を発表する「生涯学習フェスティバル」を開催します。

とき・ところ
庄原市役所
12月1日(水)〜10日(金)
しあわせ館
10月26日(火)〜31日(日)
東城支所
10月19日(火)〜24日(日)
口和支所
11月2日(火)〜7日(日)
高野支所
11月9日(火)〜14日(日)
比和支所
11月16日(火)〜21日(日)
総領支所
11月24日(水)〜29日(月)
問い合わせ
総務課行政係
☎0824731123

募集

出会いイベント参加男性募集

●自然体験ツアー
農業体験などを行いながら、仲を深めるイベントです。
とき 10月31日(日)
8時30分〜18時
ところ 市内農園ほか
対象 市内在住の独身男性
※女性は広島市方面で募集しています。
募集定員 20人
(多数の場合は抽選)
参加費 3千円

みなさんぜひおこしく下さい。

●第14回であいとふれあいフェア
芸能などの活動に取組む18団体がその成果を発表します。
とき 10月16日(土)
10時〜16時
ところ ウィル西城

●第44回庄原市西城町美展
西城地域の皆さんの作品や、小中学校、県立紫水高校の児童、生徒の作品を展示します。
とき 10月16日(土)〜18日(月)
9時〜18時
ただし、16日は9時30分から、18日は13時まで、生花展示は、17日の17時まで。
ところ 西城公民館
問い合わせ
西城公民館
☎0824822175

グランプリコンサート

毎年、大阪室内楽コンクール&フェスタで優勝したグループを招いているコンサートです。今年も、ロシアのモスクワ・クアルテットを招いて開催します。
モスクワ・クアルテットは二組のロシア人音楽家夫婦で結成され、ロシア古来の民



音楽器(グースリ・三弦ドムラ)を使う演奏家です。ロシアの代表的な民謡「カチューシャ」「ステンカラージン」やパブロ・デ・サラサーテの「カルメン」幻想曲などを演奏します。
多くの皆様のご来場をお待ちしています。
とき 11月16日(火)
開演 18時30分(開場18時)
ところ 庄原市民会館
入場料 一般2千円
小・中・高校生は無料
(整理券が必要です)
前売券発売所
庄原市民会館、ジョイフル、ザ・ビッグ、食彩館ゆめさくら、サングリーン
問い合わせ
庄原市民会館
☎0824724242
※未就学児の入場はご遠慮ください。(託児サービス有り)

県民の森イベント参加者募集

中国山地の自然探訪
県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねてみましょう。
●晩秋の比婆山
冷たい北風。冬を迎える比婆山を覗いてみませんか。
とき 11月19日(金)・20日(土)
参加費
1泊3食 1万500円
日帰り 2千円
定員 25人
申し込み・問い合わせ
ひろしま県民の森公園センター
☎0824842011
※スケジュールなどの詳しい内容は、申込者に別途ご案内します。

森林体験交流施設事業

●和菓子作り教室
旬のさつまいもとかぼちゃ。簡単レシピでなつかしの和菓子が作れます。
とき 10月30日(土)

第6回庄原市美術展覧会

【前期展】
日本画/洋画/写真
11月3日(水)〜8日(月)
【後期展】
彫塑/工芸/書
11月12日(金)〜17日(水)
10時〜18時
※最終日は、前期後期とも17時まで
※火曜日は休館
ところ
庄原市田園文化センター
問い合わせ
庄原市田園文化センター
☎0824721159

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

「古代備北の鉄生産」

市内には今でも多くの「たたら製鉄」の痕跡が残っており、この地で「鉄作り」が一大産業として栄えていたと考えられています。劇場アニメ「もののけ姫」でひろく知られるようになった「た

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

第10回「七塚まつり」

「七塚原はみんなの笑顔満開」をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りを開催します。
とき 10月24日(日)
10時〜15時
ところ 高原の家七塚および広島県立畜産技術センター

その他

入りますか？自賠責保険

自賠責保険(共済)は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的として、バイク・原動機付自転車を含むすべての自動車に、法律で加入が義務付けられています。特に、車検制度のない250cc以下のバイクは、期限切れ・かけ忘れに注意してください。

ナンプラープレートに貼られている保険(共済)標章(ステッカー)は保険期間の満了する時期を表示しています。250cc以下のバイクをお持ちの方は、保険期間が過ぎていないかを確認し、早めに更新するようにしましょう。なお、自賠責保険(共済)の加入・内容については、車両販売店または、自賠責保険(共済)取扱店へお問い合わせください。

自治振興区活動報告
ポスター巡回展示開催
平成21年度に自治振興区

福祉タクシーの協力が社が増えました

10月から、広島市内のタクシー会社26社で、新たに庄原市の福祉タクシー券が利用

活動促進補助金を活用し実施された、地域づくり事業のポスター展示を行います。これからの地域づくりのヒントがきっとあります。ぜひご覧ください。

- 比和支所
10月5日(火)～8日(金)
●ウイル西城
10月16日(土)
●高野支所
10月18日(月)～29日(金)
●口和自治振興センター
11月5日(金)～9日(火)
●東城支所
11月29日(月)
※展示時間は8時30分～17時30分(ウイル西城のみ10時～16時)
※平日のみ(ウイル西城は除く)
※庄原・総領地域の日程は、広報しようばら11月号でお知らせします。

0824731209
自治振興課

備北丘陵公園 だより
「秋まつり」
~Cosmos Autumn Festival~
10月17日(日)まで開催中
《期間中は毎日開園!》
10月10日(日)は無料入園日
備北公園管理センター
0824-72-7000

日本最大級100品種!150万本!
コスモスが見えるです!
今年のコスモス、品種を増やし100品種になりました。色や形がさまざまなコスモスを、どうぞご覧ください。10月16日(土)・17日(日)にはコスモスの切花体験もあります。

庄原をはじめ、県内、岡山、鳥根のクラフト作家30組以上が集い、さとやまの自然の材料をいかした作品づくりの実演・展示や体験教室を開催します。
●人力の鉄道「人車」体験
とき 10月17日までの土・日・祝
ところ 花の広場
珍しい人力の鉄道「人車」。人が手で押して進む往復60分の小さな旅をどうぞ。硬券の切符付き。懐かしい「急行ちどり」のカラーで登場!(1回100円)
●「42・195kmリレーマラソン」参加者募集!
とき 10月24日(日)
フルマラソンの距離をリレーで走る楽しいマラソン大会を開催します。家族、仲間に参加してみませんか?4人以上10人までのグループで参加できます。

備北オートビレッジ情報
●「キャンプリーター研修会」参加者大募集!!
キャンプ場のさまざまなイベントをサポートする「キャンプリーター」を募集しています!
研修会では、キャンピングオート運営の知識や技術などを身に付けるための実践的なプログラムに取り組みます。
●「キャンプリーター」になって一緒に活躍してみませんか?
第1回 11月13日(土)・14日(日)
第2回 12月11日(土)・12日(日)
第3回 1月15日(土)・16日(日)
第4回 2月19日(土)・20日(日)
参加費用
初回 4千500円
以降 3千円
申し込み・問い合わせ
備北オートビレッジ
0824728800

飼い主は必ず
フンの後始末を
しましょう。
あなたの犬の散歩は大丈夫ですか?
環境衛生課環境衛生係 0824-72-1398

できるようになりまし。対象の会社については、タクシーの上部に黄色の表示があります。詳しくは、市のホームページをご覧ください。
0824731210
市民生活室まで。

県立広島大学市民公開講座(後期) テーマ「研究の現場・最前線」
今回の講座は、県立広島大学で生命科学・環境・食品加工の分野で調査研究を進めている内容について、県立広島大学実験室などの研究現場で、実際に見学、体験しながら研究内容を学習します。
講座日程
回 日 時 講座名 場所 講師
1 11/9(火) 14:00~16:00 生命科学「遺伝子を見てみよう」 5111実験室 生命環境学部 奥尚教授
2 11/19(金) 14:00~16:00 環境「環境を測る」 環境工学実験室 生命環境学部 崎田省吾准教授
3 11/25(木) 14:00~16:00 食品加工「食品成分の抗酸化活性をみる」 武藤研究室(5502) 吉野研究室(4602) 食品加工場 生命環境学部 武藤徳男教授 吉野智之准教授
※2回以上講座を受講された方には修了証を交付します。
ところ 県立広島大学庄原キャンパス
申込受付 10月18日(月)~11月2日(火)
受講料 テキスト代1,000円(初回出席時納入) 定員 20人
申し込み・問い合わせ 庄原市教育委員会 生涯学習課社会教育係
〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号 0824-73-1188 FAX0824-73-1254
E-mail:syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp

広告 トイレtpペーパープレゼント
古紙を持ち込んだらもらえるよ。
お問い合わせ・お持込場所
(株)本田春荘商店庄原営業所 TEL(0824) 73-1280
庄原市是松町20-27 (庄原市リサイクルプラザ手前)

広告 「この社会あなたの税がいきている」
インターネットで申告・納税できる
e-Tax (国税電子申告・納税システム)
利用推進運動中
http://www.e-tax.nta.go.jp
社団法人 庄原法人会
〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP: http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

あっぱれ庄原
全国レベルの大会出場者・全国・県レベルの大会・市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)
その他
●夏山ワクワクなぎなたフェスティバル
(8月20日~22日・道後山総合体育館)
●基本の部 優勝
上貝 真帆(西城小2年)
●演技競技小学生高学年の部 優勝

久保 寛明(西城小6年)
●試合競技高校生男子の部 準優勝
足立 龍邦(庄原格致高1年)
※該当する方の情報は企画課広報統計係
0824731159
までお寄せください。



**人の動き**  
平成22年8月末日現在

●住民基本台帳登録人口  
人口 40,786人(前年比-557人)  
男 19,367人(前年比-249人)  
女 21,419人(前年比-308人)  
世帯数 16,069世帯(前年比-20世帯)

●外国人登録人口  
人口 341人(前年比+20人)

**市税・水道料金・下水道使用料  
納付は口座振替が便利です**

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。  
※残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145  
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175  
●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

**献血のご案内**  
☎保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおりに実施します。  
皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
10月27日(水)	ザ・ビッグ庄原店	11時30分～15時
10月29日(金)	西城保健福祉総合センター(しあわせ館)	10時～11時30分 12時30分～15時

**しょうばら九日市**

毎月9日は、しょうばら九日市  
★出展者募集中! あなたのお店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締切です。  
★申し込みは  
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

《とき》 11月9日(火) 10時～14時  
《ところ》 中本町商店街周辺  
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>

**広報日記**

今回特集で取材させていただいたイクメンお2人のお話しは、2児の父親である自分にとっても参考になることばかりでした。お話を聞きながら子どもたちに関わる時間が少なく息子にも妻にも申し訳ない気持ちになりました。お二人にはまだまだ足元に及びませんが、少しでもお二人のようなイクメンに近づけるように気持ちを入れ替えようと思います。(奥)

**犬・猫の引き取り**  
☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

10月・11月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。  
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原地域	毎月第1～第4火曜日 10月12日・19日・26日 11月2日・9日・16日	11:00～11:10 東自治振興センター 11:25～11:35 市役所車庫 11:50～12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 10月21日、11月4日・18日	9:00～ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 10月21日、11月4日・18日	9:40～ 9:50 小奴可研修センター 10:20～10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 10月28日、11月25日	11:40～11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 10月28日、11月25日	13:20～13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 10月28日、11月25日	13:50～14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 10月13日、11月10日	9:40～ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

**男女共同参画コーナー 女性児童課 ☎0824-73-1243**  
**政策・方針決定過程への女性の参画**

日本の女性国会議員の割合は約1割と、政策・方針決定の場への女性の参画は、まだまだ進んでいません。  
政治は、生活に直結するものです。男性ばかりでなく、女性の意見も同じように反映されたら良いですね。

**国会議員の女性割合 国際比較**

(※下院または一院制の数字・・・日本は衆議院)

1位	ルワンダ	56.3%
2位	スウェーデン	47.0%
3位	南アフリカ共和国	44.5%
88位	アメリカ	16.8%
103位	韓国	13.7%
119位	日本	11.3%

(調査対象国187ヶ国)  
平成21年12月内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」より



配偶者・パートナーからの  
**暴力(DV)で悩んでいませんか**  
～あなたは“ひとり”じゃない～

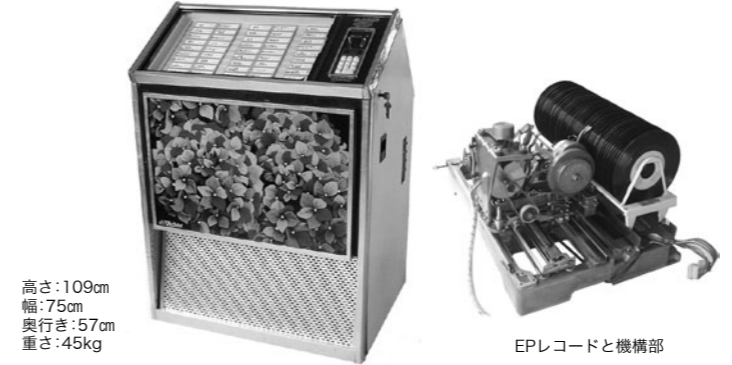
広島県西部子ども家庭センター 女性相談課  
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391

広島県北部子ども家庭センター 相談援助課  
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181 (内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

**口和郷土資料館** ☎0824-87-2230  
開館日 月・木・土 9時～17時

**ジュークボックス**



これは昭和38年に日本ビクター(株)で製造され、昭和の時代に大活躍していた「ジュークボックス」です。45回転のEPレコード50枚を内蔵、100曲を選曲して聴くことができます。ちなみに写真のものは、100円で2曲聴けるようになっていました。内部は、レコードの収納、選曲、演奏を行う複雑で精巧な機構部や、ステレオ用アンプとスピーカーが木製の箱に収められています。上部には、選曲用の表示盤や操作部、さらにイルミネーション用として蛍光灯も内蔵しています。

ジュークボックスは、アメリカで開発された自動販売機の一つです。初期にはSPレコード用も作られていましたが、本格的に普及したのは、ジュークボックス用として穴の大きなEPレコードが発売された、昭和24年以降からです。

日本には戦後、進駐軍が持ち込み、昭和45年ごろまでは、喫茶店や娯楽施設などで使われていましたが、昭和50年代になるとCDやカラオケの出現で姿を消していきました。

今では、CDも使わないデジタル式のジュークボックスが登場、インターネットから新たな曲をダウンロードして無限に曲が選べます。

当館では、この貴重なジュークボックスを何時でも聴くことができます。

**休日診療のご案内**

10月・11月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

10月11日(月)	田淵医院	☎0824-72-3900
17日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131
24日(日)	牧原医院	☎0824-72-0057
31日(日)	河本医院	☎0824-75-0311
11月 3日(水)	笠間医院	☎0824-72-0535
7日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111

●東城地域

10月11日(月)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
17日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
24日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
31日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
11月 3日(水)	東城病院	☎08477-2-2150
7日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255

**市民ギャラリー「アート多愛夢」  
情報BOX**

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

**読書感想画展**  
とき 11月9日(火)～11日(木)  
10時～17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453  
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178  
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

**ゆめさくら** ☎0824-75-4411

- 【10～11月のイベント情報】
- ▶秋の収穫祭  
とき 10月16日(土)・17日(日)  
・餅つき大会と新米・豚汁の試食会  
・特設テントにて柏餅と焼き芋の実演販売
  - ▶ゆめさくら講座  
○かずら教室  
「白木のタペストリー掛け」  
とき 10月22日(金) 9時30分～12時  
参加費 1,500円 定員 20人
  - 草木染め教室  
「染めてオリジナル巾着づくり」  
とき 10月25日(月)  
朝の部 9時～12時  
昼の部 13時30分～15時30分  
参加費 3,900円(巾着の備品は別)  
定員 各12人 申込締切 10月15日(金)
  - 癒しの空間づくりKouza  
「クリスマスツリーと寄せ植え」  
とき 11月5日(金)  
朝の部 10時30分～12時30分  
昼の部 13時30分～15時30分  
参加費 1,500円 定員 各15人
  - ▶展示・その他  
○ちくちくはうす玉手箱展  
「手仕事～古布と染めの雑貨・服～秋冬の作品展」  
とき 10月20日(水)～31日(日)
  - ちぎり絵展「四季の会」  
とき 11月1日(月)～8日(月)

**ふれあい市長室の日程**  
☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

◎とき 11月13日(土) 9時～12時  
◎ところ 東城支所

※公務により実施できない場合もあります。  
※道路の改良・維持・修繕などの要望・陳情は、事業担当課へお願いします。